

第5回 かしてつ沿線地域公共交通戦略会議 議事録

日時：平成22年2月10日（水）午後3時00分～午後4時30分

場所：府中地区公民館

出席：委員名簿の通り

1. 開会 事務局長
2. あいさつ

◆田口会長 かしてつ沿線地域公共交通戦略会議も回を重ねておりまして、小美玉市、石岡市の工事も全線にわたって本格的に着手しております。そういう中でバスを走らせるという計画もいよいよ大詰めを迎えている訳でございます。前回までの積み残し分あるいは今後の運行にあたっての方向性の詰めの作業をしてまいりたいと考えておりますので、委員さん方にはよろしくお願ひしたいと存じます。実際のところ、まだまだ市民の方にも周知が足りないところもあるかと思ひます。この会議の結果を踏まえまして、市民への周知活動・PR活動を積極的に展開してまいりたいと考えておりますので、今後ともご指導を賜りますようによろしくお願ひいたします。本日はよろしくお願ひいたします。

3. 議題

- (1) バス停及びバス車両等について
- (2) 工事の進捗状況と今後のスケジュールについて
・資料に基づき事務局より説明

【質疑】

- 委員 交差点の信号の問題ですが、専用道を横断する所につくられているものが何箇所かありますが、専用道を横断するようなところには交差点信号はつくのでしょうか。
- 事務局 基本的に信号の場所については、東田中駅の近くでございますが、それ以外の所につきましては、バス側もしくは一般車側が一時停止ということになってございまして、様子を見て注意しながら渡っていただくということになります。
- 委員 バスの接近を知らせる装置は何も無いということでしょうか。
- 事務局 カーブミラー等や標識を付けることで対応したいと考えております。特にここは直線区間で非常に見通しも良いので、むしろそういうものを付けたときの誤動作が心配でございます。
- 委員 南台一丁目はカーブで交錯しているもので、見通しが大変悪くなっておりますが、そういう装置は無しで、それぞれの確認だけでいくということですか。

- 事務局 当初は回転灯などを付けることも考えておりましたが、誤動作や故障した時にむしろ危険ではないかと考えまして、当面はカーブミラーを付けたり、一般の車のほうに必ず止まってもらおうということで対応しようと考えております。
- 委員 それぞれの自治会で路線に何か植えようという動きが高まっております。例えば一丁目は紫陽花を考えているのですが、そういった場合に専用道への出入りはどうしたら良いのでしょうか。
- ◇石田座長 それはこの次の説明があった後でお答えしていただきましょう。
- 委員 石岡駅についてのバリアフリー化についてはどうなっているのでしょうか。
- 事務局 石岡駅東のバス停にすると階段の上り下りが増えて大変だということかと思いますが、西口が厳しいという状況を受けて来週実車で試験運行をしますので、そういったものを踏まえた上で検討していきたいと思っております。
- 委員 バスは現在運行している車両の塗り替えのみということになるのでしょうか。この前提案いただいたようなユニークなデザインを皆楽しみにしていたのですが、その夢は消えたのでしょうか。
- 事務局 屋根が傾いた、窓の広い斬新なデザインにつきましては、色々許可を受ける関係がございまして、実際に難しい状況にあります。ですので、既存の車両に前回決めていただきましたコンセプトに基づいたデザインで対応するというところでございます。
- 委員 色についてはこのように塗り替えると。ボディそのものについては今までの車体と考えてよろしいのですね。
- 事務局 資料にございますのは関鉄グリーンバスが既存の車両にペイントを施したものでございます。実証運行につきましては、新たにバスを購入してこれに近いデザインのものにペイントするというところでございます。
- 委員 バスそのものは一般のバスと考えてよろしいのですね。例えば石岡駅に着いてからそのまま一般道を通って市街地に入るとか、そういったことも考えられる車両ということですね。
- 事務局 そうでございます。
- ◇石田座長 今の質問に関連して、資料に「石岡駅東」と書いてありますが、これで決まりということですか。
- 事務局 現時点で現実的にバス停を置ける場所はここしかないという状況です。
- ◇石田座長 しかし、実証実験をやる訳ですからまだ可能性があるということで「石岡駅」くらいの表現にした方が良いのではないのでしょうか。
- ◇石田座長 バスのシェルターの設置場所は下り側が多いですね。どちらで乗られるお客様が多いかという、たぶん上りが多いと思います。上りは雨が降っている時とか寒い時、シェルターで待ちたいというお客様が多く、下りはすぐ帰られる方が多いと思います。設置のスペースの制約上でこうならざるを得ないと思

ますが、反対側で待つということをどう想定するかですね。待つとするとサービスレベルの向上が図られますが、安全性の問題からすると、バスが来る直前とかに横断されたりする問題もありますので、その辺のきめ細やかなシミュレーションをどうするかを考えるなど、色々な意味でもうちょっと詰めがいるかなと思います。

○委員 先程石岡駅西口への乗り入れが難しいという話でしたが、難しいという状況はわかるのですが、せっかく専用敷を作って快適なバスを運行するということになりますので、試行とはいえ使い勝手が悪いということになると、この先乗ってもらえるお客様が少なくなる可能性があります。少なくとも全体を通して快適な移動ができるというのを経験していただくというのが実証実験で大事ですので、時間が無いのはわかりますが、何とかやっていただければありがたいです。

◇石田座長 私も同じ意見なのですが、公共交通の利便性という点でいえば、頻度、定時制、乗り継ぎが大事な問題ですので、そういうのをトータルに評価してバスを使おうとなる訳です。ところが、この需要想定の数値の根拠にかしてつが運んでいくくらいは乗ってくれるという希望的観測がありますが、かしてつが廃止されて2年余りたち、その間代替バスを走らせていただいています。相当お客さんが減っている訳です。今でも減り続けているのではと思います。そういうイメージが2年間の間に定着してしまっているのです。よほど快適なことを上手くアピールしないと、かしてつくらい乗ってくれるだろうというのは絵に描いた餅になってしまいます。石岡駅の橋上化の話がありますが、階段の上り下りを石岡駅ができるまでご辛抱くださいということにはならないと思うんです。難しいことは重々承知ですが、是非ご検討いただければと思います。

◇石田座長 開業の時期がまだ決まっていないということですが、高校生が多いので定期を買い替えられる時期というのは新学期が始まる前ですか。そうすると8月にやっておけば9月になってもそう変わらないですむかなと思います。

○委員 8月くらいに運行を始めますと、9月に向けすぐに学生さんは定期を買いまわすし、学生さんは結構夏休みに動きます。

◇石田座長 できるかどうかわかりませんが、最初の1か月は客寄せに半額にするとかお考えいただくとありがたいですね。最初どれだけつかまえられるかがポイントで、体験していただいて便利だということをおわかりいただく必要がありますので、色々なことを検討していただければと思います。

(3) 利用促進活動・地元参画について

- ・資料に基づき事務局より説明

【質疑】

- ◇石田座長 先程ご質問のあった、日常の植栽への手入れをするために専用道への出入りがどうなるのかということについて、回答をお願いいたします。
- 事務局 バス停周辺で植栽をやるというのがひとつあると思います。また、それ以外の沿道のものについては、道で歩いていけるようなスペースが確保できるのであれば、本線上に植栽のスペースを設置できるのかなと考えておりますが、道の状況を見てその場所ごとに判断していくということになると思います。
- 石田座長 原則的には立入できないという考え方で良いですか。
- 事務局 原則的にはそうですが、できる可能性もあるとお考えいただければと思います。
- 委員 かけてつが通っているときは、ホームに自治会でプランターを置いて管理していたのですが、廃線後に駅前だけの美化クラブの活動ということで抑えているのですが、バスが開通になりましたら再開したいと考えております。専用道の横断が必要となりますので、そのあたりの検討をしていただければと思います。
- ◇石田座長 資料にある植栽の例のようにはないということですか。
- 事務局 資料は事例であり、斜面の部分に植栽がされ、本線とは関係ないものでございます。例えば連絡道路の周辺でやるなど作業できる余地はありますが、道路の状態がございまして、具体的にその場所ごとに検討していく必要があると考えております。
- ◇石田座長 道路敷の法面とか斜面にも道路交通法というのは適用になるのでしょうか。
- 委員 告示で通行止めをいたします。路線バスだけ除くという形をとります。ですから、一般のバスも乗用車も自転車も駄目です。それで、今回資料にある図は苦肉の策で、輪切りにして告示を取ったらどうかと検討した結果でございます。法面はどうかということですが、あくまで告示の範疇は専用道ですので、法面については専用道にかからずに作業ができれば、大丈夫です。場所によっては背面から作業するところもあるでしょうし、事務局からありましたが、通路を通じたの部分もございましょう。5キロ7キロ全てをやるわけでもないでしょうから、その辺を工夫してやっていただければ良いのではと思います。
- 委員 住民側としては、箱根の登山電車の紫陽花をイメージして、すれすれに植栽できればと考えている。ですから、全線が紫陽花であり、どこかが途切れるなどということは考えてもおりません。ぜひ、県民の善意に基づく意思をどうしたら良いかを考えていただければと思います。桜を植えようという地域も出てきました。斜面ではなくてバス専用道の前に植えて、枝だけはバス側を切ることも可能だと思います。そこまで腹は決めておりますので、よろしく願いいたします。

- 委員 心意気はよくわかりました。全国的には木があるところはないんですが、上級官庁とも詰めまして、どこまでできるかというのは検討していきたいと思っております。
- ◇石田座長 安全性というのは非常に大事ですので、そこをきちんと詰めるようによろしくお願いいたします。
- 委員 紫陽花道をつくった事例を見ますと、朝の2時から作業するなど努力をしていらっしゃると思いますので、それはもちろん私たちも県警のほうで良からぬことだとおっしゃるのであれば、夜中にやります。
- 委員 石岡南台駅の件につきまして、少々お伺いしたいと思います。北側からのアクセス道路を整備するとございますが、ここには跨線橋がございまして、今は運行していないということで封鎖されておりますが、これを利用すれば人の流れもスムーズになり、専用道を横切ることなくバスが利用できるようになります。跨線橋を再度通行できるようになるのか、お聞きしたいと思います。
- 事務局 スロープにしまして、降りられるようにします。わざわざ階段を上がって反対側まで行く必要が無いようにしますので、特に跨線橋を使って横断するという形は取りません。なるべく階段を上り下りしなくてもアクセスできるようなことを考えて、整備する予定でございます。
- 委員 跨線橋そのものが使わなくなりますと、今後どのように保持していくのかというのが自治会として課題であります。錆がひどくなり、当初できれば撤去という話もさせていただきましたが、不可能ということですので、駅舎の管理も含めてそのような提案をさせていただきました。他のところは撤去することですが、南台駅は残るということですので、メンテナンスも含めた管理は石岡市ということになるかと思うのですが、どのように考えているのかお伺いいたします。
- 事務局 安全性を保てるような管理をしていきたいと思っております。
- 石田座長 ここでは決められませんが、お金があれば撤去したほうが良いと思います。
- 石田座長 有名な例ですが、北海道の岩見沢で駅を改築する時に市民の皆さんから寄付を頂いて、頂いた皆さんの名前をタイルに刻み込んで残すといったことをしています。また、富山のポートルムでは1枚500円でシールを買ってもらって、私は地球環境のためにトラムに乗りますと、トラムの上に貼っていただく、これが上手くデザインされていて、販売数が多くなるにしたがって絵が完成して地球の姿になっていくんです。
- 当初の目標としては3月11日というタイミングだったんですが、それが難しいということですので、先ほど8月くらいというお話ができましたが、5カ月くらい期間が十分得られたということです。是非色々な意見を出していただければと思います。

(4) 事後評価と来年度事業について

- ・資料に基づき事務局より説明

【質疑】

- 委員 バスがいかに今までより便利になったかということ沿線住民の方々が知るといのが大事だと思います。先日南台地区の自治会長が集まった時に、半年くらいの無料利用券を自治会宛にいくらかお渡しいただければという話ができました。そういう初期投資をお願いしたいということでございます。
- ◇石田座長 予算の問題が色々あったり、他のバスはどうなのという公平性の問題もありますので、中々難しい提案かと思いますが、例えば新しく越されてきた方に、地域のバス情報と一週間くらいの無料券を差し上げるということを試みている自治体も出てきておりますので、是非検討していただければと思います。
- ◆田口会長 初めての運行方法でございますし、モニタリング調査ということも可能かと思っておりますので、そこは検討させていただければと思います。
- ◇石田座長 事後評価をしっかりとかけているかと思いますが、これはすぐに出すんですか。
- 事務局 1月29日に提出してございます。予定では今月中に関東運輸局さんのほうで二次評価をいたしましてその結果を協議会に通知してくるということになってございます。
- ◇石田座長 手堅く書けていますが、これがどのような使い方をされるかといいますと、国交省でこれを使って減額になっているというのが証明されないと、スキームそのものが事業仕分けになってしまうんですね。だから、これは皆さんあまり感じておられないかもしれませんが、行政と市民と事業者が一致団結して連携していただいて、日本で初めてのことをいろんな困難を経ながら、ひとつひとつ解決してきたことがいっぱいあるんですね。そういう連携みたいなものが来年度に現れるようなことが出てくると、助かると思います。
- 委員 石岡駅の周辺整備で駅が橋上化をする。最近は当たり前ですが、エスカレーターやエレベーターが完備されて、問題がすっきりと解決するというところで、期待をさせていただいて、整備のスピードを上げることをお願いしたいと思います。
- ◇石田座長 事後評価の提出済みのものと、来年度の事業についてもご説明通りに承認させていただきたいと思っております。

(5) その他

- ◇石田座長 その他ということで、何かございますか。
- 委員 私たち、かしてつバス応援団の今後の活動をご紹介したいと思います。今年

も私たちの活動の糧となる助成金がおりにことになりましたので、ポケットティッシュを作成しまして、利用者の促進活動を行う予定でいます。また、今月の21日に小川駅に装飾を行います。具体的にはベニヤ板にかしてつバス君の絵を描きまして、地域住民の皆さんと花壇をつくったり、絵をペンキで塗ったりします。

○委員 小美玉市でございます。前回、茨城空港に間に合うようにというお話をいただきましたが、残念ながら開港に間に合わないということで、先ほどスケジュールの説明をいただきましたが、かなり変わっている状況でございます。一部工事が遅れることによって、シェルター、遮断機等の安全施設は全く決まっていない状況でございます。特に小美玉市の場合は、今月いっぱい工事が終了するというので進めておりまして、既に議会等からも今後どうなるのかということで工事を実施している部署に質問がございます。全体的な供用開始は遅れても、景観などできるところについては、事前に進めていただきたいと思えます。いくつか問題点もあるかと思いますが、よろしく願いいたします。

もうひとつお伺いしたいのが、バスのデザインの件でございます。今後協議会で購入するものについては「似たもの」というお話がありましたが、似たものというものはどういうものかお伺いいたします。何故かと申しますと、グリーンバスさんが既に塗装まで終わったものをこれからのバスの運行の中で使うという話がありました。それぞれのバスにどのような違いがあるのかお伺いいたします。

●事務局 ただいまのバスのデザインの件でございますが、関鉄グリーンバスさんが所有している既存のバスに塗装・デザインを施したものができあがっております。実証運行のためのバスも購入いたしますけれども、そのバスにつきましては、利用促進計画の中でも申し上げましたけれども、沿線の企業などにネーミングライツを頼みまして、例えばかしてつの「か」を模したデザインの部分については、企業協賛をいただける方の名称を入れることなどを考えております。

○委員 この「か」という部分を削除する可能性があるということですか。

●事務局 色については、白とシルバーを基調としたもので塗装して、ロゴの部分については、ネーミングライツで企業名を入れるなどを想定しております。

○委員 かしてつ応援団ということで今日も見えておりますが、協議会の中で今まで私たちが使っていたデザインを使えないかという話もでました。そのような中、皆さんの協議の中でつくったものを今後変えるというのはいかがなものかと思うので、そのへんのところをご協議いただければと思います。

◇石田座長 よくやられているラッピングバスを走らせるということですか。それは議論したほうが良いのではないかと思います。入れますということは、事務局としては決定ということですか。

- 事務局 決定ということではございません。ネーミングライツを取って、今後の独自性のある路線とするためのひとつの方策として、そういうこともあり得るということでございます。
- 委員 全部がそうなのはやはりみっともないので、基本的にはこのカラーは維持されていて、そのうちの何分の一かが企業宣伝に使われても良いかと思いますが、節度は心得ていただきたい。イメージとしてこの地域の人たちが、私たちのバスだという色が出てくるまでは、努力を続けていただきたいと思います。
- ◇石田座長 これからどういう補修の仕方をするのかなかと思いますが、今このへんを走っているラッピングバスというのはいかがなものかと思いますが。もう少し面積を抑えるとかしていただきたい。
- 事務局 今、先生が言われたようなバスの全体を塗装されているようなイメージではなくて、一部を取り除いて、枠を決めて企業名を入れるというようなイメージでございます。基本的なコンセプトは変えないということです。
- ◇石田座長 せっかくデザイナーさんに参画していただいて、トータルデザインは有用だということを協議会でも説明していただいて、皆で納得した訳ですから、デザインというのは本当にイメージで大事ですので、是非検討していただいて、皆さんに愛されるような、みんなのものであるという印象を強く持ってもらえるようなものができればと思います。
- 委員 乗り物も都市景観の一部であります。現在石岡市で景観計画策定中ですので、そういうことも併せて、いかにあるべきかを考えていただければと思います。
- ◇石田座長 その他にいかがでしょうか。もしよろしいようであれば、議題についてはこれで終了とさせていただきたいと思います。ありがとうございました。

4. 閉会 事務局長

以上

凡例：◇座長 ◆会長 ○委員 ●事務局